

2025年
6月1日
第10号

ひょうご NIE 通信

—2025 神戸大会へ—

発行 NIE 神戸大会事務局 〒650-8571 神戸市中央区東川崎町1-5-7
☎078-362-7003 メール hyogo-nie@kobe-np.co.jp



NIE 神戸大会参加受け付け開始

県内小中高教職員は無料、大会サイトも開設

7月31日、8月1日に神戸市で開催する「第30回 NIE 全国大会神戸大会」の大会サイトが開設され、参加受け付けが始まった。兵庫県内の幼小中高校や高等専門学校、特別支援学校の教職員、児童・生徒、教育委員会の職員は、参加無料。県外の教育関係者は3千円、新聞・通信社関係者は1万3千円など。ご参加をお待ちしています。

全国大会は日本新聞協会が毎年開催。神戸大会は神戸新聞社、兵庫県 NIE 推進協議会が主管を務める。今年は阪神・淡路大震災 30 年、戦後 80 年の節目で、大会スローガンは「時代を読み解き、いのちを守る NIE」を掲げる。

学校の授業などで新聞を活用する NIE について、教員、新聞関係者らが集い、学び合う。

昨年は衆議院選挙、東京都知事選、兵庫県知事選などで、交流サイト(SNS)の問題がクローズアップされた。児童・生徒らが SNS を多用する今、情報を活用

する「メディアリテラシー」への理解も深める機会にしたい。

初日は神戸ポートピアホテル(神戸市中央区港島中町6)、2日目は甲南大学岡本キャンパス(神戸市東灘区岡本8)が会場となる。

1日目は作家小川洋子さんが「言葉は人をつなぐ」と題し記念講演、ジャーナリスト池上彰さんらが登壇し、「情報で、いのちを守る」をテーマにパネル討議を行う。

2日目は公開授業や実践発表など28の分科会・ワークショップが実施される。公開授業は「『シンブリオバトル』で主体的な学びを」(甲南小学校)「新聞で開くメディアリテラシー」(姫路市立豊富小中学校前期課程)「『NIE ノート』を通して、主権者としてのまちづくり」(西宮市立浜脇中学校)「新聞にツッコミを！」(県立北神戸総合高校)の4つ。分科会も多彩なテーマが並ぶ。

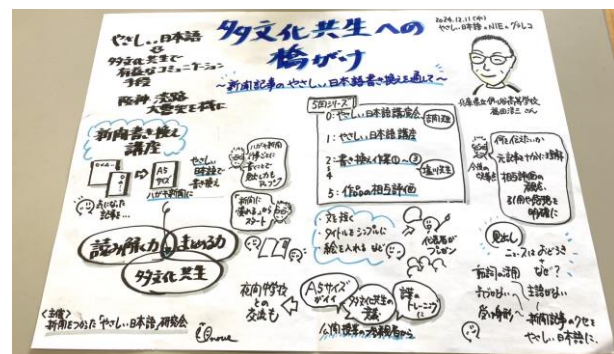
このほか、1日目の会場では、「新聞女」こと西沢みゆきさんが、全国の2025年元日の新聞を使って巨大なドレスを披露する。

大会サイトで、2日間の詳細を紹介している。一般の人でも参加できる。申し込みは <https://www.kobe-np.co.jp/info/nie2025/>

問い合わせは NIE 神戸大会事務局
TEL078・362・7003

(NIE 神戸大会事務局 網 麻子)

兵庫の NIE 研究組織「新聞をつかった『やさしい日本語』研究会」(昨年 12 月)の様子を描いたグラレコ



グラレコ初導入

講演や公開授業を可視化

「NIE全国大会神戸大会」では、会議などの内容を文字や図・イラストで記録するグラフィックレコーディング(グラレコ)を初めて導入する。その場の雰囲気や可視化・共有化するツールで、一昨年から、兵庫県 NIE 推進協議会主催の実践発表会や NIE セミナーなどで作成してきた体験を生かし、大会に臨む。

グラレコは 1 日目の記念講演とパネル討議、2 日目の4つの公開授業の様子をリアルタイムで描く。両日とも会場や教室に掲示するほか、神戸大会サイトで公開を予定している。

グラレコは情報を分かりやすく伝え、人々の対話を促し、新たな気づきや創造性を引き出す力をもつ。神戸大会でも参加者の学びを豊かにし、大会の成果をより確かなものにできればと願う。メディアリテラシーを育む新しいアプローチとして、今後の教育現場でも活用してほしい。グラレコが描き出す、神戸大会の新たな「学びの風景」にご期待を。

(日本新聞協会 NIE アドバイザー、姫路市立英賀保小学校長 井上幸史)

第30回 NIE 全国大会神戸大会のパンフレット



神戸新聞 2025年05月23日 金曜日 面名 教育 1 13 11ページ

なおみ先生の NIE 教室



「真実の口」に手を入れる写真に「敵は、嘘。」という新聞広告を出したのは、出版社の宝島社。「鬼滅の刃」の全面広告が全国紙5紙に掲載され、大きな話題になったこともありました。新聞にはテレビやインターネットとは少し違う広告が載っています。物を売るためというより、企業の理念や魅力を伝えたり、作者の思いを伝えたり。新聞広告の効果って何だろう。これって国語表現の授業にならないか?と考えたのは愛徳学園中学・高校(神戸市垂水区)の米田俊彦先生。

⑩ 正確に、印象深く

授業では、高校生たちはまず、気に入った新聞広告を選び、何を伝えようとしているか、工夫をしている点、効果的なところ、改善点について話し合い、良い広告とは何かを一般化します。

ある班では、いろいろな髪形の写真10枚とともに「内定式に、自分らしい髪で来てください。」の広告文のあるパンテーンの広告を選びました。「もっと文字を大きく」「この広告文では、企業理念の『自由』が伝わりにくい」「リンクやQRコードを貼る」などの意見が交わされました。それをもとに、高齢者や女子高生の目からはどう見えるかなど対

象世代を考慮し、自分が広報部員ならどう変えるかを、さまざまな視点から考えました。

どうすれば短い文章で人をひきつけ、正確に印象深く情報を伝えられるか。広告文を考えることは、言語を使ったコミュニケーション能力の向上に役立ちます。

(NIE・NIB推進部顧問 吉田尚美)

◆NIEは学校で新聞を教材として活用する活動です。この連載は第4金曜に掲載。

よしだ・なおみ 兵庫県稲美町出身。県内公立高校国語教諭、三木北高校長、播磨南高校長などを経て現職。

広告で考えるコミュニケーション

2025年5月23日付神戸新聞朝刊教育面に掲載されました